

平成15年12月

担当：公安調査庁

平成16年版「内外情勢の回顧と展望」

はしがき

概 況

第1 平成15年の公安情勢の焦点

- 1 北朝鮮の「核開発問題」
- 2 北朝鮮の不法活動に内外から非難
- 3 更に高まるイスラム過激派によるテロの脅威
- 4 観察処分の期間更新決定及びその実施に反発したオウム真理教
- 5 「教祖・麻原」の位置付けをめくり動揺しながらも、組織拡大をもくろんだオウム真理教

第2 国際関係

- 1 北朝鮮，体制存続の危機感を背景に国内の結束強化を図る
- 2 会員らの不満がうっ積するも，既存路線にこだわる朝鮮総聯
- 3 中国，胡錦濤体制が「大衆重視」を掲げ本格スタート
- 4 中国，「反日世論」に配慮しつつ対日関係改善に意欲
- 5 2004年台湾・総統選挙に向け波乱含みの中台関係
- 6 次期大統領選挙を視野に入れながら，「強国ロシア」を目指すプーチン政権
- 7 緊張続く中東情勢
- 8 「市場経済至上主義」への反対を掲げ，国内外で活動を活発化させる反グローバル化勢力

第3 国内関係

- 1 「イラク戦争」を機に国際連帯活動を本格化させた過激派
- 2 内政問題をとらえ政府を批判するも，左翼系団体の運動は停滞
- 3 閉そく状態の打開に力を注ぐも，総選挙で後退した共産党
- 4 時局問題をとらえ，政府批判を中心に活動した右翼団体
- 5 特異な主張を展開し，注目を集めた特異集団
- 6 日本赤軍が「ムーブメント連帯」を通じ，パレスチナ連帯活動を展開

あとがき

< P D F ファイル >

目次

はしがき

概 況

平成 1 5 年の公安情勢 [P D F]

国際関係 [P D F]

国内関係 [P D F]

あとがき